



神金公民館だより

第140号

2021年10月1日
館長 小沢利一
主事 田邊康仁

神金地区納涼花火大会



8月20日（金）の夜7時半から、神金地区納涼花火大会を実施しました。

前日まで、停滞前線の影響で雨が毎日降り続け、当日の午後にもパラパラと雨が降り、天気が心配でしたが、打ち上げ時間の頃には薄曇りとなり、無事に開催できました。

ちょうど月齢11.6の十三夜となり、打ち上げられた花火の向こうにお月様も顔を出し、花火との共演もみられました。

納涼祭が2年続けて実施できないということで、納涼祭実行委員で検討した結果、花火大会を実施させていただきました。

花火を打ち上げていただいた「丸玉屋」さん、ポンプ車の用意や交通整理などしていただいた神金分団1・2部の団員の方々には、ご協力いただき、ありがとうございました。



桃の機械共選終了

9月6日、神金共選所における桃の機械共選が終了となりました。

現在の共選機は、平成19年に導入された光センサー選果機です。すでに耐用年数が切れ、毎年修理しながら使用してきました。

交換部品もなくなっている状態ということで、2年前の生産部臨時総会で検討し、他の共選所への持ち込みが決定されました。昨年、生産者のアンケート調査を行い、大藤共選所への持ち込みで検討していくことになり、大藤生産部と協議し、来年から大藤共選所に持ち込んでいくこととなりました。

機械共選最終日には、共選終了後、生産部役員と作業員の方々と機械共選終了式を開催し、これまで無事に機械選果が実施できたことに感謝しました。

なお、来年もスモモの共選はこれまで通り実施し、桃の箱選や個選も実施する予定となっています。



最終日の共選の様子

神金トピックス&ニュース

現在の共選機が導入された平成19年，日本農業新聞に掲載された竣工式の記事を田辺保男さんが保存しておいてくれました。

山梨県中央市塩山のJ Aフルーツ山梨神金支所の光センサー選果機が完成し、18日、同支所第1共選所で竣工（しゅんこう）式が開かれた。管内は標高が600～800㍍あり、県内では遅場を代表する産地。桃生産者は160人で面積46㍎、900㍍の出荷がある。光センサーは、7月上旬出荷の「日川白鳳」から利用する。

式にはJ Aや生産部代表、施工者のJ A全農やまなし、センサーを納めた株マキ製作所、重点取引指定市場7社の関係者ら60人が出席。神金地区生産部長の田辺達雄さん（65）は「生産者の高齢化が進み、平均年齢は60歳以上。ここで導入しないといけないと考え、全額自己資金とはなったが

桃選果機が完成

J Aフルーツ山梨神金支所



山梨県中央市塩山のJ Aフルーツ山梨神金支所の光センサー選果機が完成し、18日、同支所第1共選所で竣工（しゅんこう）式が開かれた。管内は標高が600～800㍍あり、県内では遅場を代表する産地。桃生産者は160人で面積46㍎、900㍍の出荷がある。光センサーは、7月上旬出荷の「日川白鳳」から利用する。

光センサーの完成を喜ぶ田辺さん（左）と桃担当の橋爪嘉雄さん（右）

決定した」と経過を説明した。

J Aの廣瀬久信組合長は「高品質が求められており、センサーを導入した。市場関係者には、施設の導入を取引先に説明し、産地の努力が価格に反映されるようにしてほしい。キロ当たり500円はぜひ実現してほしい。J Aとしても全力でバックアップしていく」と話した。

夏秋イチゴ 技術向上へ

長野・全農長野などが講習会

【長野・あづみ】夏秋イチゴの栽培技術向上を目指して夏秋イチゴの講習会がこのほど、J Aあづみで開かれた。J A全農



機械共選終了式

大藤共選所見学会

9月3日、来年から桃を出荷する大藤共選所の見学会が実施され、神金地区から50人以上の生産者の方々が参加しました。

持ち込み場所や選果機の様子、空箱置き場などを説明してもらいました。



◇今年度事業の中止のお知らせ◇

新型コロナウイルス感染症対策のため、次の公民館事業が中止となります。

10月20日：神金シンポジウム 11月18日：館外研修

1月11日 ：新春カルタ・餅つき大会

2月19日 ：童謡フェスティバル

◇神金文化祭展示作品の募集◇

11月1日から開催予定の神金文化祭の展示作品を募集しています。

写真や絵画、書道作品、生け花などを展示予定です。地区内の方々の様々な作品を展示していきたいので、ご協力をお願いいたします。

問い合わせは、館長や主事などをお願いいたします。

